

「パブリックアートってなに？」展

～パブリックアートと地域デザイン展

テーマ：アートによる地域と暮らしの活性化を考える

2019.05.14 (Tue) ～ 05.31 (Fri)

- 近年、アートが地域コミュニティを再生する大きな鍵となっています。日本各地で開催されている芸術祭にも見られるように、現代アートが地域コミュニティの活性化に果たす役割に注目が集まり、パブリックアートと地域デザインは切っても切れない関係になってきています。
- そして今、パブリックアートという概念は「公共空間に置かれたアート」というこれまでの定義からさらに広がりを持ち、「生活空間と共にあるアート」といった広義な概念へと拡がりつつあります。
- 神田神保町のさくら通りに昨年7月にオープンした art gallery & Legion ではこれまで“暮らしにアートを”というコンセプトの下、<アート> & <建築> & <工芸>の3つをテーマに、暮らしの中におけるアートの役割について考えてきました。
- そこで来たる5月を「パブリックアート WEEK」とさだめ、パブリックアートをキーワードとした展覧会、ならびに、建築・アートの専門家によるクロストーク&交流会を開催いたします。
- “ 日常にアートを” “ 暮らしにアートを” “ 地域にアートを” … いまふたたび、パブリックアートについて考えます。

- 日 程：2019年5月14日(火)～31日(金)
(休館：日曜・月曜)
- 時 間：展覧会 / 12:00～18:00
クロストーク&交流会 / 18:00～20:00
5/15(水)・5/17(金)/5/22(水)・5/24(金)
ワークショップ / 18(土) 14:00～15:30
- 内 容：(詳細裏面参照)
- 場 所：art gallery & Legion 東京都千代田区神田神保町2-11 三橋ビル1F TEL/03-6272-8807
- 参加費：展覧会/無料 クロストーク&交流会/1000円(資料代・ワイン含む)
ワークショップ/こども300円(材料代)、大人1000円(活版カード作品付)



●主催： art gallery & Legion

●後援：一般社団法人 日本建築美術工芸協会 aaca

「パブリックアートってなに？」展 ～プログラム～

□ **クロストーク&交流会** (参加費：1000円(資料代・ワイン含))
【各日 18:00～19:00 クロストーク / 19:00～20:00 交流会】

【パネラー profile】

・松田静心 Shizumune Matsuda / 美術家
1960年鹿児島県生まれ 東京在住
桜島の火山灰を使用し、オイル・アクリル・アルキドテンペラ等の洋画材の他、日本画用の胡粉、水干、墨、箔なども使用した独自の混合技法により抽象画を制作。個展、国内外グループ展多数。他に、成田空港の壁画制作や、グラフィック・デザイン、アート・ディレクションも手掛ける。映画やドラマにも作品が使用されている。

・長田淳一 Junichi Nagata / 建築家、木造作家
1962年埼玉県浦和市生まれ、東京造形大学デザイン学部卒業
1990～2001(株)高崎正治都市建築設計事務所 勤務
2004 Japonesia Design Office 一級建築士事務所設立。国際野外の表現展、アートアイランズ TOKYO国際現代美術展 参加アーティスト

・小野寺 優元 Yugen Onodera / 彫刻家・アートディレクター
1950年岩手県一関市生まれ 東京造形大学彫刻研究室修了
石彫作品制作に加え、現代美術の展覧会の企画・運営、都市空間におけるアートのあり方の提唱など都市デザイン、アートマネジメント活動に携わる。東京造形大学非常勤講師(～2019)川口市アートギャラリー・アトリア芸術監督(～2019)

・三上 紀子 Noriko Mikami / 建築家
1964年大阪府生まれ、東京大学大学院新領域創成科学研究科修了
建築家として住宅・ホテル・医療施設等の建築デザイン・設計監理に携わる傍ら、2018年7月神田神保町に建築と現代アートをコンセプトとしたギャラリーを開設。日本大学生産工学部非常勤講師。レジオン・コンサバティブ(株)一級建築士事務所代表取締役

・江口 恵津子 Etsuko Eguchi / インテリアコーディネーター
東京都生まれ 慶應義塾大学経済学部卒業
癒し空間アーティストとして、住まう場所に癒しを求めて提案型のリフォームを提唱。懐かしいものを受継ぎながら環境にやさしいデザインリフォームを創りだす。TV出演、講演会、雑誌取材等多数。日本フリーランスインテリアコーディネーター協会会長(～2019) 株式会社ヴェルディッシュモ代表取締役

・天野浩子 Hiroko Amano / 彫刻家
1984年神奈川県生まれ 東京藝術大学大学院修了
主に石を素材として彫刻を制作し、野外展示や個展などで作品を発表している。居住空間や学校など日常生活のそばに設置される彫刻作品も手がけ、場所と作品の交差を試みている。

・武田有左 Arisa Takeda / 建築家
1958年東京都生まれ 東京藝術大学大学院修了
代表的な建築作品は、練馬区立石神井公園ふるさと文化館、代官山フォーラム、調布CIELOなど。造形作家・照明デザイナー・ランドスケープアーキテクトとのコラボレーション多数。+ANET lab.主宰

・星 素子 Motoko Hoshi / 言葉アーティスト
山口県生まれ 東京在住 日本大学芸術学部卒業
漢字を用いた循環詩型の言葉アートを開発し、国内外で展示やワークショップ、地域参加インスタレーションを重ねる。作品に、環境と人を映す「目黒 素ことば」(駅前エリア設置)がある。「中之条ビエンナーレ国際現代芸術祭2019」エデュケーション・プログラム・アーティスト。

5/15 (水) 松田静心 (美術家) x 長田淳一 (建築家、木造作家)
「映画の中のアート、日常の中のアート、ストーリーとしてのアート」

5/17 (金) 小野寺優元 (彫刻家・アートディレクター) x 三上紀子 (建築家)
「日本における "1% for ART" の可能性について
～韓国、台湾の法制化に学ぶこと」

5/22 (水) 江口恵津子 (インテリアコーディネーター) x 天野浩子 (彫刻家)
「生活空間とアート： ～いろ、かたち、素材」

5/24 (水) 小野寺優元 (彫刻家・アートディレクター) x 武田有左 (建築家)
「都市 / 建築 “場の意味を高める ART” の可能性について」

□ **ワークショップ** 【14:00～15:30】 参加費：こども 300円(材料代) 大人 1000円(活版カード作品付)

5/18 (土) 素ことばワークショップ 「まちを考える言葉アート」
講師・ファシリテーター / 星 素子 (言葉アーティスト)

□ **クロージング・パーティ** 【17:00～19:00】 (参加費：500円 +1品持寄)

5/31 (金) “暮らしにアートを” “日常にアートを” “地域にアートを”
みんなで、デザインの側面から
パブリックアートについて考えたいと思います。

□ 同時開催：

日本大学生産工学部創生デザイン学科による「パブリックアート in 神保町」展
学生によるプレゼンテーション 【参加費：無料】

イベント
5/11(土)

5/25(土)

各日 14:00～、15:00～、16:00～

□ 参加お申込み方法：氏名、ご住所、所属、連絡先 (TEL& e-mail)、参加希望プログラム、人数 をご記入の上、
artgallery.legion@gmail.com 迄、お送りください。

● 主催： art gallery & Legion

● 後援：一般社団法人 日本建築美術工芸協会 aaca